キャラクター名
愛場　幸介(あいば・こうすけ)

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン ソラリス	ワークス	UGNエージェントD	カヴァー	UGNエージェント
オプショナル		年齢	31	性別	男
覚醒	償い	衝動	自傷	初期侵食率	38 %
出自	天外孤独	経験	永劫の別れ	邂逅	スケアクロウ

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	1	0	0			1
精神	2	0	0			2
社会	4	1	0			5

HP	24
行動値	21
(非装備時)	21
戦闘移動	26
全力移動	52

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	1		交渉	8	
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：兵器4/(他の知識色々貰った	4		情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
UGNボディアーマー					装甲値+8

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：専門家〈知識：医療〉	
思い出の一品（指輪）	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
破壊者	P	N		
愛場恵(あいば・めぐみ)	P　庇護	N　偏愛		
D市支部	P 連帯感	N　不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:　12	残り財産P：　9

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセ：ソラリス	2	2	ﾒｼﾞｬｰ				—	
効果：C値-LV								
絶対の恐怖	5	3	ﾒｼﾞｬｰ	視界	—	対決	—	
効果：攻：+LVの射撃攻撃/装甲無視								
神の御言葉	5	4	ﾒｼﾞｬｰ	—	—	対決	ﾘﾐｯﾄ	
効果：↑と組合せ/攻+[LV*5]/1ｼﾅ3回								
オーバードーズ	2	4	ﾒｼﾞ/ﾘｱ	—	—	ー	100	
効果：組合せた全ｴﾌｪのLVを+2/1ｼﾅLV回								
先手必勝	4	基+4	常時	至近	自身	自動	—	
効果：行動値+[LV*3]/LVupしない								
彼方からの声	1							
効果：								
高濃度酸素バブル	1							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

経歴
・成人する前に両親を亡くし天外孤独となる。アルバイトで学費を稼ぎ何とか大学を卒業。一般企業に就職したがそこはブラックでした。
・辛い毎日を送る中で出会った女性と恋に落ちる。結婚し子供を授かるが、程なくして妻は病気で他界。喪失のショックでオーヴァードとなる。
・幼い娘も妻と同じ難病を抱えており、明日をも知れぬ命である。高額な治療費のため、また治療法を探すため、UGNで働くことに。
・普段娘のことは義母に頼んでいるが、義母もまた身体が弱く、義父は早くに他界している。妻は今際の時に二人を頼むと言った。そう、彼女らが頼れるのは自分だけ。どんなに危険な任務に行こうが、絶対に生きて帰る。絶対に。

パーソナリティ
・いたって普通の真面目な青年だが、どういういうわけか親類縁者に死者が出る不運な星の下に生まれる。なんか運が悪くて幸が薄い。
・運が悪くても努力すればきっと幸せになれると頑張ってはいるが、不運は努力で覆すことができず、妻を亡くしたことも娘が難病を抱えていることも自分のせいではないかとすら思っている。
・今はとにかく娘の病気を治すため、仕事や情報収集に奔走している。忙しいが溺愛する娘にはこまめに会いに行っている。
・配属先のＤ市支部の仲間には病気の娘がいることやUGNに入った理由を話しており、日々協力を仰いでいる。娘可愛い自慢と共に。

戦闘スタイル
・交渉射撃型。「絶対の恐怖」で死神とか見せてる。自分には見えてないけど。

今回のシナリオにあたって
お前が一番速いから救援を呼んで来い―そう言って戦場から追い出された。その言葉の真意を読めないほど付き合いは浅くない。
病気の娘がいる。絶対に生きて帰るんだ。いつも言っていた言葉。仲間たちは「もしも」「全滅した」場合の為に、そんな俺を逃がしてくれたのだ。
速く動けるのは事実。武器が無くても近づかなくても戦える。声を届ける能力だってある。確かに自分が一番適任だ。そう自分に言い聞かせて。
言い聞かせて―戦場から逃げ出した。